

■ 中華民国物流協会／日本 MH 協会 共催 事例発表会・見学会終了報告

さる6月19日(水)・20日(木)の2日間、台北市の集思台大會議中心において、台湾現地の荷主や物流事業者(MHユーザー)を対象に、日本の優れたMH技術を紹介することを目的とした事例発表会を開催しました。共催した中華民国物流協会と当協会とは1995年来の交流団体であり、中華民国物流協会の会員企業122名が聴講する中、日本側により下記4件の発表が行われた。また、発表会場横に、展示ブースを設置し、発表者並びに聴講者との活発な商談が終始行われた。

事例発表会 プログラム

① 14:00～14:35 (35分)

テーマ：表示システム、ピッキングカート活用による生産性の向上と食品工場での自動化導入事例

講演者： 菁文企業有限公司 協理 黄千柔氏／

株式会社インダ 物流システム部 FA・物流営業課 課長 西尾 誠 氏
少量多品種のバラピッキング作業の生産性向上をテーマに、「表示システム及びマルチピッキングカート」をご紹介致します。表示システムでは固定設備にとらわれずスペースフリーを実現する無線表示器や、出荷精度を限りなくゼロに近づける為、計量器を搭載したピッキングカート等、どちらも複数オーダーを同時に処理出来る機能を搭載し、生産性向上に貢献致します。また、自動捕捉式秤(ウエイトチェッカー)を使用したインラインでの重量検品システムや、日本国内における食品工場での自動化機器の導入事例をご紹介させていただきます。

② 14:35～15:10 (35分)

テーマ：人手不足に対応するMH事例

講演者：ホクショー株式会社 海外営業部 営業課 北村 圭秀 氏、木原 名祥 氏
弊社標準製品である垂直搬送機、ソーターの「人手不足に対応するMH事例」について納入事例について、ビデオを交えながらご紹介させていただきます。ロボット投入ソーター、AGV搬送オートレーター、RFID対応ソーターです。各々導入の背景には深刻な人手不足問題がありました。その他、お客様要望を受け開発中の「書籍用自動切り出し装置」や「靴用自動切り出し装置」も紹介致します。

休憩 (15:10～15:30) ※コーヒブレイク・個別商談会 (各ブースにて)

③ 15:30～16:05 (35分)

テーマ：人手不足及び作業環境への改善提案

講演者： オークラ輸送機株式会社 ロボットシステム開発部 アプリケーション開発課
課長 平尾 剛章 氏

物流業界における少子高齢化を起因とした労働力の不足、重労働を伴う荷役労働力不足が懸念されている中で、ロボットによるカゴ車やパレットへの製品の積み付け（パレタイズ）、積み下ろし（デパレタイズ）の完全自動化実現に向けた当社の取り組みの中よりマスタレスデパレタイズシステムの紹介となります。

④ 16：05～16：40（35分）

テーマ：最新 MH 事例

講演者：村田機械株式会社 L&A 事業部 LS 営業部 課長 仲野 博人 氏

日本の流通業界で導入が進み始めたソーターレスのケース仕分けシステムのご紹介。省スペース化、省人化、誤仕分け削減を同時に実現でき、且つ誰にでもできる作業にすることで、今後の労働力不足にも対応できます。

3. 個別商談会 16：40～17：00（20分）

個別商談会（各ブースにて）／中華民国物流協会参加者・日本MH協会発表者との名刺交換会



写真 事例発表会の模様

6月20日（木）は、不動産開発会社で台湾唯一の赤ワイン倉庫を保有する「永聯物流共和国」と、台湾の大手 EC 事業者「智信數位整合股份有限公司」の2か所を見学し、2日間の行程を終了した。



写真 永聯物流共和国 見学の模様



写真 智信數位整合股份有限公司 見学の模様